

プレゼンテーションのあり方

連合教職実践研究科
浅井和行

プレゼンのコミュニケーション

- 研究発表時の研究主任の報告
- 小学校5年生の言葉
- 音読も双方向
聞き手の意識
- 配布資料

私が心がけていること（戦略）

- 相手を知る
- 導入のインパクト（ねらい）
- 個人的な体験を話す
- 内容は少ないほうがいい
- できるだけマイクを使わない

プレゼンテーションの準備と本番

- 原稿
手持ち原稿→箇条書きメモ→なし
- スライド
文節で、文字の大きさ・配色、
フォントはゴシック系
- リハーサル（話すスピード）
ゆっくり、間を考えて
- アイコンタクト
聞き手（誰か）を納得させる

アニメーションや映像の活用

- 余計なアニメーション<内容
- 静止画（写真、イラスト）
- 動画